

構造改革特別区域計画

1. 構造改革特別区域計画の作成主体の名称

高萩市

2. 構造改革特別区域の名称

高萩市教育特区

3. 構造改革特別区域の範囲

高萩市の全域

4. 構造改革特別区域の特性

高萩市では、まちづくりの方向を示す計画として、平成 12 年度に「げんき・やるき・かがやきのあるまち～高萩～」を将来都市像として掲げた第 3 次高萩市総合計画を策定し、まちづくりを進めてきた。

しかし、長引く不況の影響による国や地方財政の悪化に加え、少子高齢化の進展などを背景に、国や地方自治体には抜本的な構造改革が求められている。高萩市においても、効率的で質の高い行政サービスの提供を進める行政経営の推進を図り、財政の健全化とともに地域の特色を生かした活力あるまちづくりを進めることが必要である。

そこで、本市では地域にあった特色あるまちづくりを市民と行政との協働によって進めていくために、第 4 次高萩市総合計画を策定した。本計画は、本市の将来のまちのめざす姿（将来都市像）の実現に向けて、市民と行政のパートナーシップにより、共通の方向性をもってまちづくりを進めていくための指針となるものである。このため、将来の都市像やビジョンなどを市民にわかりやすく表現し、施策や事業の位置づけや目的、達成状況を明らかにする。本計画の策定にあたっては、幅広く市民の意見を反映させた計画とするために、市民会議の開催や市民アンケート調査を実施し、策定を進めてきた。

基本構想は、平成 23 年度を初年度に、平成 32 年度を目標年次とした 10 年間の計画としている。その内容は、本市のめざす将来都市像と、それを実現するための基本政策を明らかにする、まちづくりの指針を示したものである。

施策の大綱としては、高齢者や障がい者が社会参画をし、生きがいを持って暮らすことができる生涯現役社会の構築や、市民一人ひとりが地域社会の中で互いに支え合う豊かな心を持ち、福祉活動に取り組む環境づくりの充実を図るなど「支えあい、健やかな暮らしができるまち」。市民の環境保全に対する意識を高め

るとともに、市民や事業者等と連携して、環境負荷の軽減や自然環境の保全に努める。また、増加している集中豪雨などによる突発的な災害に対する防災力を高める。特に地域での防災に向けた取り組みを支援し、地域での防災体制の整備に努める「安心して安全に暮らせる環境と調和したまち」。地域や市民と行政が協力して、緑や花の魅力が感じられる景観づくりを推進する。通勤や通学、買物をはじめとする市民生活の利便性を高めるため、公共交通手段の充実と利用促進を図る「暮らしやすい快適なまち」、農業の活性化を目指し、関係団体と連携しながら、担い手の確保、育成など経営基盤の整備・強化に取り組むとともに、地産地消の推進を図る。また、地域がもつ豊かな自然資源の魅力を生かしながら都市との交流を推進する「地域の活力があふれるまち」。子どもたちの確かな学力やたくましい心身を育み、地域への愛着と誇りと感性をもった萩っ子を育てることや、市民一人ひとりが生涯を通じて生きがいを持ち続け、自ら学び、活動ができるように市民の生涯学習活動を支援する「豊かな心を育み、萩っ子がいきいきと育つまち」。市民と行政が協働のまちづくりを進めるため、市民主体のまちづくり活動を支援するとともに、政策づくりや事業の計画づくり、及びそれらの運営に市民が参画し、市民協働の取り組みを促進する。市民一人ひとりの人権が尊重され、差別や偏見のない地域社会をつくるため、人権啓発活動を推進するとともに学習機会をとおして、人権に対して正しい理解と認識を醸成する「ともに力をあわせてつくる自立したまち」である。

しかしながら、実施計画の見直しにあたって、長期にわたる景気の低迷・市内大手企業の倒産、市民の価値観の変化、急激に進展する少子・高齢化による山間地域の過疎化の進展や新たな産業の育成の困難さ、あるいは若人を中心とした人材の流出など、なおも継続的課題が存在しており、地域活性化のための新たな振興策が緊急の課題となっている。

このような現状を勘案し、高萩市では地域活性化の振興策として、市の固有の財産である豊かな自然を最大限活用しながら、教育・文化・スポーツの分野で活発な活動が行われ、市内外の人々が集まる賑わいのある町づくりに注力することとした。また、少子・高齢化の進展に対し、従来より取り組んでいる民間ボランティア活動の推進による市民の社会参加の機会を創出するとともに、農林業等の市民の実生活に根ざした自らの経験や知識を次の世代に伝えることのできる、言わば、教えることにより自らも学ぶ生涯学習を通じて、活力のある町に蘇らせる。

5. 構造改革特別区域計画の意義

現在のところ、高萩市には市民の求める教育・文化・スポーツの分野で豊富な自然環境や民間ボランティア等の力を活かす体系的な仕組みが十分とはいえない。そこで、株式会社ハーモニックが提案している通信単位制高等学校およびその専攻科を設立することによって、教育分野での地域活性化を図る。

当該通信単位制高等学校では、学校外学修としてボランティア活動や体験学習が数多く組み入れられている。具体的にはスクーリング時に、生徒が高萩市を訪れるときに実施される特別養護老人ホームや障害者（児）施設でのトランスや食事介助・口腔ケアの実習、海浜・河川部の清掃や山間部における地元 NPO との共同事業としての植樹活動、地元農家との提携による稲作・畑作などの農業体験学習等である。体験学習の実施に際して、職業として長年従事してきた、特に農林業等の分野で豊富な経験を持つ高齢者やボランティアの専門家集団である NPO を中心とした市民が指導にあたる。また、通信単位制高

等学校の専攻科では、高萩市におけるスクーリング時に老人保健施設等で行う実習や現場体験、ボランティア活動を通じて専門的な知識を持つマンパワーや市民ボランティア団体と交流することにより、多様な人材交流が図れる。加えて、高卒以上の未就業若年層に地域の街おこしボランティア団体等との人材交流を通じて、座学だけでなくアイデア・施策等を実体験で学ぶ機会を与えると同時に、若者のキャリア形成にも寄与する。このように学校教育と連動することにより、教育の分野におけるボランティア活動および生涯学習の仕組みを確立するとともに、指導する市民だけでなく、関与する人々の裾野を広げ、活発な人材交流を通じて市民の活力を高める。

通信単位制高等学校の生徒は比較的不上校経験者が多いが、彼らには今までの環境やしがらみを切り替えて前に進める機会を提供することにより、自らの目標を確立し、新たな進路に進んで行く児童生徒も多い。株式会社ハーモニックの親会社である株式会社ウィザスは昭和 62 年以来、大検予備校（第一高等学院）として不上校・中退生に対する学習の再チャレンジの機会創出と指導に注力してきており、毎年多数の生徒が大学・短大・専門学校へ進学し、この分野では一定の指導実績を残している。

高萩市の持つリソースと株式会社ハーモニックのノウハウが結合することにより、指導する側にとっても指導される側にとっても、教育を通じた自己実現と社会参画が可能となり、市としても社会的貢献度が高い。

また、通信単位制高等学校に専攻科を設置し、社会人を中心とした幅広い年齢層のニーズに合った教育を実施することにより、専門職として社会に貢献できる人材を輩出するとともに、当該分野の啓発・ボランティア活動を踏まえた市民の福祉活動・職業体験活動への参加を促進することは高萩市として地域再生・地域を含めた若年層のキャリア形成・雇用対策に繋がり、地域活性化の重要な柱となる。

この度平成 24 年 4 月 1 日付で、本事業の主体である株式会社ハーモニックの親会社である株式会社ウィザスが株式会社ハーモニックを経営統合（吸収合併）する。株式会社ハーモニックは、これまでも顧客支持獲得及び経営努力により順調に業績確保をしつつも、学校経営は少子化、競合学校の生徒獲得激化による在籍・業績確保において予断をゆるさない状況であることは変わらない。株式会社立学校においては、学校法人立学校に比して、税制面・私学助成面において差異があり、学校経営の原資は、生徒・保護者の純粋な学費に寄るところとなっており、不断の経営努力なくして業績確保は難しいと考える。

今般の経営統合（合併）の目的において、第一に公器として学校経営の永続性を保つため、高校事業の再編・経営効率化を通じた経営体力の強化による安定的運営の実現。第二に、株式会社ウィザスが運営する指導連携校（サポート校・予備校）との事業再編も行い、顧客サービス向上の視点で教育サービス（ハード・ソフト面）への投資を図り、更なる指導面・内容の充実を図り、顧客貢献に繋げてゆく。

また、経営統合と同じくして、当該事業の主体の学校名の変更【現「ウィザス高等学校」から「第一学院高等学校 高萩校」へ】も行う。

学校名変更の目的として株式会社ウィザスグループが創業以来掲げる教育理念の“生徒第一”「1/1 の教育」を通じた、コーポレートビジョンである「社会で活躍（貢献）できる人づくり」を更に体現させ、「一人ひとりの生徒の幸福を願い、一人ひとりの生徒を「育む」ことを重視する、“生徒第一”の想いを顧客に約束する意味合いも込めることで、更なる顧客・社会貢献に繋げてゆく。加えて、株式会社ウィザスが運営する指導連携校（サポート校・予備校）との連携強化も図り、掲げる同じ教育理念「1/1 の教育」のもと、共通の教育像・学校像・生徒像を掲げ、通信制高等学校としての指導と付加価値を与える指導連携校（サポート校）での指導を、それぞれを指導する教職員・カリキュラム等を明確に位置付

け、統一ブランド「第一学院」として顧客からも判り易さ安心感を与えてゆく。

また、学校名に市の名称を冠することで本事業に関して、高萩市及び市民と一体となって進める意味合いも含まれ、高萩ブランドの認知効果も期待できる。

いずれの本事業計画の変更についても、高萩市にとって本事業を継続・発展させる上で重要事項と捉えており、今般の計画変更が更なる顧客・社会貢献へ繋がり、結果として地域活性化にも大きく寄与するものと期待する。

6. 構造改革特別区域計画の目標

高萩市では、少子・高齢化が進行し、産業立地も困難な地域において、高萩市固有のさまざまなリソースを活かして、教育を核とした地域活性化を目指している。特に、今回の特区における特例を活用して重点的に推進する内容は次の通りである。

- ① 高萩市では現在ある 28 の生涯学習団体および 17 のボランティアグループが活動しており、今回の学校設置を通じてより一層の連携を高め、市内外の人材の交流を通じて、活動そのものの活性化を支援する。学校の学習カリキュラムには特別養護老人ホームでの食事介助・障害者施設での口腔ケア等のボランティア活動そのものが授業に組み入れられており、当該団体との関連性は高いため、学校外学修の分野で協力できる内容が多い。また、農業体験・植樹体験・伝統工芸体験等の体験学習分野においても、経験のある農林業従事者、特に中・高年者を中心とした市民による体験授業指導に協力できる分野が多い。これらのことを通じて、市民の生きがいや生涯学習の機会が創出され、教育と関連することにより、より一層の活力を市民に提供するとともに、最終的には、全国から多くの生徒がスクーリングを通して高萩の地を訪れることによる、国内留学都市高萩を目指す。
- ② 通信単位制高等学校およびその専攻科では生徒が広域に存在するため継続的で個別の学習補完が重要である。高萩市では都市基盤整備事業として IT 分野においてもインターネットなどの通信技術を活用した地域情報ネットワーク形成に取り組んでおり、e-mail や映像コンテンツ等を使った学習管理・相談指導を通じ、前述の体験学習実践前後における予備学習・レポート指導・指導者との引き続きの連携・相談等をサポートする。このことは高萩市ならではの教育手法発信の可能性を秘めているとともに、指導者と生徒の継続的な関係を維持することによる、より深く、より広い人的つながりをもった地域活性化を目指す。
- ③ 通信単位制高等学校に福祉・保育・商業・行政の専攻科を設置し、社会人を中心とした幅広い年齢層のニーズに合った生涯教育を実践することにより、専門教育の機能強化を図り、学ぶ者と専門的な知識を持つ指導者および福祉施設等で活動する人々、そしてボランティア活動をする市民等、市内外の多様な人材交流を図る。また、高齢者や障害者（児）への正しい福祉の知識やノーマライゼーションの精神を専攻科で専門的に学ぶことにより、専門職として社会に貢献できる人材を輩出する。加えて、高卒以上の未就業若年層への商業・行政の基礎知識教授、専門資格・ビジネススキル取得の機会を通じて、キャリア形成を図るとともに、若年層の雇用対策にも寄与し、社会に貢献できる人材輩出することも目指す。

本計画は以上のことを前提に、既に一定の教育経験と生徒確保能力のある学校設置会社による私立高校を誘致して、市の目標を達成しつつあるが、更なる成果を求めるものである。

学校の設置主体に関しては、「学校設置会社による学校設置事業（816）」の特例を適用し、地域活性化策の一つとして、高萩市に株式会社立の通信単位制高等学校およびその専攻科を設置する。高萩市および市民の協力の下、設置主体による新たな事業展開とともに、全国各地より集まる生徒と市民との交流により、教育を通じた地域経済の活性化を図る。

また、ボランティア・農業体験等の選択科目の拡大を通じて、体験学習を骨格にした先進的な教育ノウハウを構築する。特にスクーリング時に多くの生徒が高萩の地を訪れることによる自然とのふれあい・農林業・福祉施設・商業施設等の専門家から学ぶ体験学習を通じて、学ぶ者に癒しと多くの新たな友を形成するための機会となるとともに、市民が教育の一部に携わることにより、生きがいを感じる生涯学習の場ともなり、地域へ寄与・貢献するものである。

ボランティアを中心とした体験学習は以下の通りである。

（通信単位制高等学校）

- ・特別養護老人ホームや障害者（児）施設等での実習により、高齢者や障害者（児）への正しい知識と理解、ノーマライゼーションの精神を養う。
- ・校舎、施設の近隣の公共施設での清掃や、自然保全を目的とした活動を通じ、社会の一員としての役割を実感させる。
- ・稲作・畑作を中心とした農業体験を中心に日本の文化を学習する。
- ・模擬株式会社の設立を通して、株式市場や会社運営を実体験として学ぶ。
- ・地元消防署の協力を得て、救急救命方法の取得などを学ぶ。

（通信単位制高等学校の専攻科）

- ・ケアハウス、老人保健施設、特別養護老人ホームや保育施設等での実習・現場体験により高齢者や幼児への保育等への正しい知識と理解を養う。
- ・市民福祉ボランティア団体と連携して各種事業に参加することにより社会参加への達成感を学ぶ。
- ・地域の街おこしボランティア団体と連携し、行政視点・商業視点での地域活性化のアイデア・施策を学ぶ。

7. 構造改革特別区域計画の実施が構造改革特別区域に及ぼす経済的社会的効果

市民と行政の協働によるまちづくりの実践を通して地域活性化を促進することは、今後の新たな行政運営のあり方を模索している多くの地方自治体の先進事例となり、わが国の社会的、経済的発展に貢献すると考えられる。

まず、社会的効果としては、多くの不登校経験者の失われかけた将来に対し、自己実現のための新たな機会を得、立派に高校を卒業することにより、社会に再チャレンジする機会を提供することになる。通信単位制高校が設置する総合学科では、専門性の高い科目を履修することが可能となるため、生徒の様々な進路希望に対して対応をすることが可能となり、キャリア教育とも結びつく。また、社会福祉専

攻科において生涯学習を実践することにより専門教育の機能強化を図ることができる。このことは、高萩市が次代を担う人材の育成に大きく貢献することとなる。また、市民が長年蓄積してきた経験やノウハウは自己の周りの限られた範囲でしか表せなかったが、専門家として教育に参画することにより、市内外の多くの若人に教え、伝えることができる。このことは、教育との関わりを通じて、民間ボランティア活動や体験教育の指導者が増えることになり、市民の社会参加の機会を増やすとともに多様な人材交流に繋がる。さらに、個々の団体の活動と教育活動が連動する仕組みを創出し、継続的でより高次の活動へと発展することになる。

以上のことを通じて、高萩市がかつて華やかであった頃のように、市内外の人々が集まる活力のある町に蘇らせる。

	在籍数 (内、専攻科)	卒業見込み数 (内、専攻科)	ボランティア活動・農林業体験等の教育指導者延べ数 (内、専攻科)	主なボランティアグループ活動参加者 (内、専攻科)
平成 22 年度	3,616 名 (318 名)	1,575 名 (232 名)	279 名 (20 名)	180 名 (12 名)
平成 23 年度 (見込み)	3,800 名 (400 名)	1,650 名 (245 名)	290 名 (25 名)	220 名 (20 名)
平成 24 年度 (見込み)	4,100 名 (440 名)	1,730 名 (270 名)	315 名 (35 名)	250 名 (30 名)
平成 25 年度 (見込み)	4,300 名 (500 名)	1,800 名 (300 名)	335 名 (45 名)	280 名 (40 名)

※平成 20 年 4 月姉妹校ウィザス ナビ高校開校（養父市教育特区）に伴う見込み予測修正あり。

また、経済的効果としては、新設学校が高萩市内に建設されたため、近隣土地の利用促進および地元建設業界の受注増加などが促進されるとともに、地元での教員や事務職員の雇用が見込まれる。

	職員雇用（地元）（内、専攻科）
平成 22 年度	10 名 (1 名)
平成 23 年度 (見込み)	12 名 (1 名)
平成 24 年度 (見込み)	13 名 (1 名)
平成 25 年度 (見込み)	14 名 (2 名)

年間を通じて生徒が集中スクーリングに高萩市へ来ることの経済効果としては、流動人口の増加につながるるとともに、周辺施設、店舗等地場産業の活性化、生徒・保護者の宿泊施設の需要や日常生活の需要などが喚起される。

	集中スクーリング参加者 (内、専攻科)	当市への民間需要規模 (内、専攻科)
平成 22 年度	2,686 名 (222 名)	29,100 (513) 万円
平成 23 年度 (見込み)	3,000 名 (310 名)	30,000 (750) 万円
平成 24 年度 (見込み)	3,400 名 (400 名)	31,000 (1,000) 万円
平成 25 年度 (見込み)	3,800 名 (480 名)	32,500 (1,200) 万円

※平成 20 年 4 月姉妹校ウィザス ナビ高校開校（養父市教育特区）に伴う見込み予測修正あり。

8. 構造改革特別区域の事業の名称

- ・学校設置会社による学校設置事業（816）

別紙 構造改革特別区域において実施し又はその実施を促進しようとする特定事業の内容、実施主体及び開始の日並びに特定事業ごとの規制の特例措置の内容

9. 構造改革特別区域において実施し又はその実施を促進しようとする特定事業に関する事業その他の構造改革特別区域計画の実施に関し地方公共団体が必要と認める事項

- ・特になし

1. 特定事業の名称

816 学校設置会社による学校設置事業

2. 当該規制の特例措置の適用を受けようとする者

第一学院高等学校 高萩校

3. 適用開始の日

平成 24 年 4 月 1 日

4. 特定事業の内容

- ① 事業に関する主体
株式会社ウィザス
- ② 設置位置/大阪市中央区備後町 3 丁目 6 番 2 号 KF センタービル（本店所在地）
茨城県高萩市大字赤浜字苧又作 2086 番地 1（事業所【学校】所在地）
- ③ 設置時期 平成 24 年 4 月 1 日
※当初設置時期：平成 17 年 4 月 1 日
- ④ 事業により実現される行為や整備される施設などの詳細
通信単位制高等学校（広域制）は平成 17 年 4 月に開校。
通信単位制高等学校の専攻科の開設については平成 19 年 1 月に開校。
また、今回の事業の主体【学校設置会社】・特例措置の適用を受けようとする者【学校名】の
新学校名での生徒募集を行う予定。

5. 当該規制の特例措置の内容

- ① 高萩市に存在する教育上の特別なニーズ
高萩市では市の固有の財産である豊かな自然を最大限活用しながら、従来より取り組んでいる民間ボランティア活動の推進による市民の社会参加の機会を創出するとともに、農林業・福祉等の市民の実生活に根ざした自らの経験や知識を次の世代に伝えることのできる、言わば、教えることにより自らも学ぶ生涯学習を通じて、活力のある町を目指している。

当該通信単位制高校での指導内容の中にはボランティア活動や体験学習が数多く組み入れられている。具体的にはスクーリング時に、生徒が高萩市を訪れたときに実施される特別養護老人ホームや障害者（児）施設でのトランスや食事介助・口腔ケアの実習、海浜・河川部の清掃や山間部における地元 NPO との共同事業としての植樹活動、地元農業との提携による稲作・畑作などの農業体験学習等である。体験学習の実施に際して、職業として長年従事してきた、特に農林業等の分野で豊富な経験を持つ高齢者やボランティアの専門家集団である NPO を中心として市民が指導にあたる。

また、通信単位制高等学校の専攻科においても、市内にある独居高齢者等食事サービスグループ、子育て支援サークルなど多くの団体が活発な取り組みを行っており、それらの団体と人材交流を通じて学習を行う。

このように学校教育と連動することにより、教育の分野におけるボランティア活動および生涯学習の仕組みを確立するとともに、指導する市民だけでなく、関与する人々の裾野を広げ、活発な人材交流を通じて市民の活力が高まる。

以上のことを実現するためには「学校設置会社による学校設置事業」の特例により、学校を設置することが適切であると判断した。

② 株式会社ウィザスの設置する学校が適切であると認めた理由等

株式会社ウィザスは、当市の特別なニーズを理解し、それに合致する教育を実行することが可能であり、それが適切かつ効果的であると判断した。

(1) 一定の条件等

資産要件としての学校の校舎については、当初、株式会社ハーモニック（株式会社ウィザスの完全子会社）が自己所有にて設立し、校地についても、財団法人高萩市住宅公社理事会において承認を得て、高萩市内の土地を有償貸与（20年間リース）していたが、H22年6月に財団法人高萩市住宅公社解散により、その後H23年1月に校地を取得。その他に必要な運営財産については、この度の株式会社ウィザス[資本金12億9,937万5千円]の株式会社ハーモニックの吸収合併による事業の主体【学校設置会社】変更で、更なる経営体力強化により、学校経営・運営はできるものと判断している。

学校を経営する役員については、代表役員は過去27年間に亘り、株式会社ウィザスの役員として第一高等学院や第一ゼミナール等の民間教育機関の経営に直接携わっており、また、H20年4月開校のウィザスナビ高等学校（兵庫県養父市）の経営も行っており、十分な知識と経験があるものと判断できる。

さらに、通信単位制高等学校およびその専攻科における面接指導等については、本計画に記載された区域内において行われることとなっていることから、事業の適切な実施が図れるものと判断できる。

(2) 情報公開

当該会社は学校設置会社が備えるべき書類（貸借対照表、損益計算書、営業報告書）、業務状況書類を株式会社ウィザスが設置する学校において、書類作成中の期間を除いて公開しており、これらの書類は毎年度末現在で作成され、6月20日以降は公開が可能となっている。

また、学校の内部・授業の様子等は、学校を公開する際の一定の安全対策（受付での確認等）を講じた上で、常に公開すると共に定期的にオープンスクール（月 1 回）等を実施して一般に公開し、また、ホームページ等を活用して本校に関する情報を公開している。

（3） 地方公共団体による評価

高萩市は、市独自の私立学校審議会（高萩市通信単位制高等学校審議会）を設置し、年 1 回以上、当該学校の教育、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について、書類及び実地で実施しており、その評価結果については、一般に公表することとしている。

（4） セーフティネット

高萩市は、常に経営状況の把握等、事業の円滑かつ確実な実施につとめ、万一学校経営に著しい支障を生じた場合に備え、生徒の適切な就学ができるよう市の内部にあらかじめ担当者を決めており、近隣所在の通信単位制高等学校の転入学に関する情報収集、協力要請を行っている。また、そうした事態が生じた場合には、高萩市内部に専門の窓口を設け、生徒から他校への転入学希望を聴取し、転入学可能に関する情報収集、紹介を行うこととする。

（5） 審議会

高萩市では、私学関係者を幼・小・中高から 3 名、市議会から 1 名、教育関係有識者 2 名の計 6 名からなる市独自の私立学校審議会（高萩市通信単位制高等学校審議会）を設置し、行政の適正性、公正性、専門性を確保している。

第一学院高等学校 高萩校 教育課程（総合学科）

【必修・選択必修科目】※全生徒対象科目

教科	科目	区分	標準単位	備考
国語	国語表現Ⅰ	選択必修	2	※いずれか1科目選択
	国語総合	選択必修	4	
地理歴史	世界史A	選択必修	2	※いずれか1科目選択
	世界史B	選択必修	2	
	日本史A	選択必修	2	
	日本史B	選択必修	4	
	地理A	選択必修	2	
	地理B	選択必修	4	
公民	現代社会	必修	2	
数学	数学基礎	選択必修	2	※いずれか1科目選択
	数学Ⅰ	選択必修	4	
理科	理科基礎	選択必修	2	※この中から2科目選択
	理科総合A	選択必修	2	
	理科総合B	選択必修	2	
保健体育	保健	必修	2	
	体育	必修	7	
芸術	書道Ⅰ	選択必修	2	※この中から1科目選択
	美術Ⅰ	選択必修	2	
	音楽Ⅰ	選択必修	2	
外国語	オーラル・コミュニケーションⅠ	選択必修	2	※いずれか1科目選択
	英語Ⅰ	選択必修	4	
家庭	家庭基礎	選択必修	2	※いずれか1科目選択
	家庭総合	選択必修	4	
情報	情報A	必修	2	
	総合学習	将来設計指導1	必修	1
産業社会と人間	将来設計指導2	必修	1	
	将来設計指導3	必修	1	
	産業社会と人間	必修	2	

【自由選択科目】※系列に関係なく全生徒が履修できる科目

教科	科目	区分	標準単位	備考	
国語	現代文	選択	4		
	古典	選択	4		
	基礎国語	選択	2	学校設定科目	
	国語演習1	選択	4	学校設定科目	
	国語演習2	選択	4	学校設定科目	
地理歴史	文学探訪	選択	2	学校設定科目	
	世界史演習1	選択	4	学校設定科目	
	世界史演習2	選択	4	学校設定科目	
	日本史演習1	選択	4	学校設定科目	
	日本史演習2	選択	4	学校設定科目	
	日本史演習3	選択	4	学校設定科目	
	実跡めぐり	選択	1	学校設定科目	
公民	倫理	選択	2		
	政治・経済	選択	2		
	時事問題	選択	2	学校設定科目	
	公民演習	選択	4	学校設定科目	
数学	数学Ⅱ	選択	4		
	数学A	選択	2		
	数学入門	選択	2	学校設定科目	
	数学演習1	選択	4	学校設定科目	
	数学演習2	選択	4	学校設定科目	
理科	物理Ⅰ	選択	3		
	化学Ⅰ	選択	3		
	生物Ⅰ	選択	3		
	地学Ⅰ	選択	3		
	自然観察	選択	1	学校設定科目	
	オーラル・コミュニケーションⅡ	選択	4		
外国語	英語Ⅱ	選択	4		
	リーディング	選択	4		
	ライティング	選択	4		
	基礎英語	選択	2	学校設定科目	
	英語演習1	選択	4	学校設定科目	
	英語演習2	選択	4	学校設定科目	
	外国語1	選択	4	学校設定科目	
	外国語2	選択	4	学校設定科目	
	商業	情報処理	選択	4～8	
		簿記	選択	4～8	
ビジネス基礎		選択	4～8		
英語実務		選択	4～8		
課題研究(商業)		選択	4～8		
総合的な学習	ボランティア1	選択	2	学校設定科目	
	ボランティア2	選択	2	学校設定科目	
	ボランティア3	選択	2	学校設定科目	
	ボランティア4	選択	2	学校設定科目	
	ボランティア5	選択	2	学校設定科目	
	ボランティア6	選択	2	学校設定科目	
	ボランティア7	選択	2	学校設定科目	
	ボランティア8	選択	2	学校設定科目	
体験学習	体験学習1	選択	2	学校設定科目	
	体験学習2	選択	2	学校設定科目	
	体験学習3	選択	2	学校設定科目	
	体験学習4	選択	2	学校設定科目	
	体験学習5	選択	2	学校設定科目	
	体験学習6	選択	2	学校設定科目	

【体育系列】

教科	科目	区分	標準単位	備考
体育	体育理論	選択	2	
	休つきり運動	選択	4	
	スポーツⅠ	選択	2	
	スポーツⅡ	選択	2	
	スポーツⅢ	選択	2	
	野外活動	選択	1	
	スポーツ文化論	選択	2	学校設定科目
	フィジカルコンディショニング論	選択	4	学校設定科目
	メンタルコンディショニング論	選択	2	学校設定科目
	スポーツコミュニケーション論	選択	2	学校設定科目
	救急救命法・応急手当	選択	2	学校設定科目
	スポーツ医学	選択	4	学校設定科目
	スポーツ栄養学	選択	2	学校設定科目
	生涯スポーツ論	選択	2	学校設定科目
	スポーツマーケティング論	選択	2	学校設定科目

【芸術系列】

教科	科目	区分	標準単位	備考	
音楽	音楽理論	選択	2～6		
	音楽史	選択	2～6		
	演奏法	選択	2～6		
	ソルフェージュ	選択	2～6		
	声楽	選択	2～6		
	器楽	選択	2～6		
	作曲	選択	2～6		
	美術	美術概論	選択	2～6	
		美術史	選択	2～6	
		素描	選択	2～6	
構成		選択	2～6		
絵画		選択	2～6		
版画		選択	2～6		
彫刻		選択	2～6		
ビジュアルデザイン		選択	2～6		
クラフトデザイン		選択	2～6		
映像メディア表現		選択	2～6		
環境造形	選択	2～6			
鑑賞研究	選択	2～6			

【ファッション系列】

教科	科目	区分	標準単位	備考
家庭	消費生活	選択	4	
	生活産業基礎	選択	4	
	発達と保育	選択	4	
	服飾文化	選択	4	
	ファッションデザイン	選択	4	
	フードデザイン	選択	2	
	食文化	選択	2	
	調理	選択	1	
課題研究(家庭)	選択	2		

【国際系列】

教科	科目	区分	標準単位	備考
英語	総合英語	選択	4	
	英語理解	選択	4	
	英語表現	選択	4	
	異文化理解	選択	4	
	生活英語	選択	4	
	時事英語	選択	4	

【福祉系列】

教科	科目	区分	標準単位	備考
福祉	介護福祉基礎	選択	4	
	こころとからだの理解	選択	4	
	社会福祉基礎	選択	4	
	生活支援技術	選択	4	
	社会福祉演習実習	選択	4	学校設定科目
	生活と福祉	選択	4	学校設定科目
	福祉特別講座1	選択	4	学校設定科目
	福祉特別講座2	選択	4	学校設定科目
	ホームヘルパー講座	選択	4	学校設定科目

【理数系列】

教科	科目	区分	標準単位	備考
理数	理数数学Ⅰ	選択	4	
	理数数学Ⅱ	選択	4	
	理数数学探究	選択	4	
	理数物理	選択	4	
	理数化学	選択	4	
	理数生物	選択	4	
理数地学	選択	4		

・平成23年4月1日より施行

第一学院高等学校 高萩校 教育課程（専攻科）

■社会福祉コース介護福祉士専攻						
科 目	授業形態	単位数	授業時間数			実習時間
			面接授業	放送視聴	印刷教材による授業	
社会福祉基礎	講義	4	4	4	132	
人間と社会	講義	4	4	4	132	
介護福祉基礎	講義	4	4	4	132	
コミュニケーション技術	講義	2	2	2	66	
こころとからだの理解	講義	5	4	6	165	
生活支援技術	講義	6	5	7	198	
介護過程	講義	3	3	3	99	
介護総合演習	演習	2	2	2	66	
介護実習	実習	3	4		85	105
	小計	33	32	32	1,075	105
合計						1,244

■社会福祉コース保育士専攻						
科 目	授業形態	単位数	授業時間数			印刷教材による授業
			面接授業	放送視聴	印刷教材による授業	
保育原理		4	4	4	132	
保育実習理論		6	5	7	198	
子どもの食と栄養		4	4	4	132	
子どもの保健		6	5	7	198	
保育の心理学		4	4	4	132	
社会福祉		4	4	4	132	
児童家庭福祉		4	4	4	132	
教育原理		2	2	2	66	
社会的養護		2	2	2	66	
	小計	36	34	38	1,254	
合計						

■社会ビジネスコース行政専攻						
科 目	授業形態	単位数	授業時間数			印刷教材による授業
			面接授業	放送視聴	印刷教材による授業	
ビジネスIT I	講義	4	4	4	132	
ビジネスIT II	講義	5	4	6	165	
ビジネス簿記 I	講義	5	4	6	165	
ビジネス法務	講義	4	4	4	132	
行政基礎 I	講義	5	4	6	165	
行政基礎 II	講義	3	3	3	99	
行政基礎 III	講義	4	4	6	130	
行政基礎 IV	講義	6	5	7	198	
	小計	36	32	42	1,186	
合計						

■社会ビジネスコース商業専攻						
科 目	授業形態	単位数	授業時間数			印刷教材による授業
			面接授業	放送視聴	印刷教材による授業	
ビジネスIT I	講義	4	4	4	132	
ビジネスIT II	講義	5	4	6	165	
ビジネス簿記 I	講義	5	4	6	165	
ビジネス法務	講義	4	4	4	132	
ビジネス簿記 II	講義	5	4	6	165	
ビジネス簿記 III	講義	4	4	4	132	
ビジネスIT III	講義	3	3	3	99	
ビジネス英語	講義	6	5	7	198	
	小計	36	32	40	1,188	
合計						

・社会ビジネスコース(行政専攻・商業専攻)は平成 24 年 4 月 1 日より施行

教職員配置計画表

第一学院高等学校 高萩校

種別	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
校長	1	1	1	1
教頭	1	1	2	2
国語	13(11)	13(11)	13 (9)	13 (8)
地理歴史	9 (8)	10 (7)	11 (6)	12 (4)
公民	7 (3)	7 (3)	8 (2)	8 (2)
数学	4 (2)	5 (2)	6 (2)	7 (3)
理科	5 (2)	6 (3)	6 (2)	7 (3)
保健体育	6 (1)	6 (1)	6 (1)	7 (1)
書道	1	2 (1)	2 (1)	2 (1)
美術	1	1	2 (1)	2 (1)
家庭	1 (1)	1	2 (1)	2 (1)
英語	8 (5)	8 (5)	10 (5)	10 (5)
商業	3 (2)	3 (2)	3 (2)	3 (2)
情報	3 (1)	3 (1)	3 (1)	3 (1)
福祉	1 (1)	1 (1)	2 (1)	3 (2)
工業	0	0	1	1
司書	0	0	1	1
養護	1	1	1	2 (1)
事務	7 (2)	9 (5)	11 (5)	13 (6)
広報事務	3 (1)	4 (2)	5 (2)	5 (3)
合計	75 (40)	82 (44)	96 (41)	103 (42)

(注) () 内の数は、非常勤講師の数である。

教職員配置計画表

第一学院高等学校 高萩校
専攻科

■教員配置計画表 () は非常勤

教科	担当科目	平成 22 年度	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度
介護福祉士 課程	福祉	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)
	家庭	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	看護	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
保育士課程	家庭	2 (1)	2 (1)	2 (1)	2 (1)
	福祉	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	看護	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	音楽	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	美術	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
	国語	1 (1)	1 (1)	1 (1)	1 (1)
行政課程	情報	0	0	1	2 (1)
	商業	0	0	1 (1)	1 (1)
	地歴	0	0	1 (1)	1 (1)
	公民	0	0	1 (1)	1 (1)
	国語	0	0	1 (1)	1 (1)
	数学	0	0	1 (1)	1 (1)
	理科	0	0	1 (1)	1 (1)
商業課程	情報	0	0	1 (1)	1 (1)
	商業	0	0	1	2 (1)
	公民	0	0	1 (1)	1 (1)
	英語	0	0	1 (1)	1 (1)
合計		11 (9)	11 (9)	22 (18)	24 (20)

・行政・商業課程専攻は平成 24 年 4 月 1 日より配置予定

2-1 規制の特例措置を受ける主体の特定の状況

<p>名称</p>	<p>株式会社 ウィザス</p> <p>(代表取締役 生駒 富男)</p>
<p>住所</p>	<p>(本店所在地) 大阪府大阪市中央区備後町3丁目6番2号 KFセンタービル (※平成24年4月1日付) (事業所【学校】所在地) 茨城県高萩市大字赤浜字荻又作2086番地1</p>
<p>概要</p>	<p>設立：昭和51年7月10日</p> <p>業種：人材育成のための教育事業等</p> <p>資本金：12億9,937万5千円</p> <p>株式店頭公開（JASDAQ 上場）</p> <p>※平成24年4月1日付を以って、株式会社ハーモニック（完全子会社）の吸収合併を行う。</p>

4.法第4条第3項の規定により聴いた意見の概要

提案者	株式会社 ハーモニック (代表者：堀川 一晃) (住所：〒104-0061 東京都中央区銀座 4-2-15 塚本素山ビル)
意見を聴いた日	平成 16 年 1 月 16 日
意見を聴いた方法	高萩市役所において、高萩市教育特区の認定申請内容につき、意見を聴取。
意見の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. ボランティア活動などを通じた市民の福祉活動への参加や生きがい対策を推進する高萩市にとって、平成 17 年 4 月開校のウィザス高等学校を早期に開校できる方法を選択する。 2. 校地については、高萩市と貸与について協議を進める。校舎に関しては、設置者の自己所有とする。
提案に対する対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市としてもボランティア活動・生涯学習の推進による早期効果を図るため、積極的に学校設置を進める。 2. 校地については、財団法人高萩市住宅公社の所有地を有償貸与する計画としている。

4.法第4条第3項の規定により聴いた意見の概要

提案者	株式会社 ハーモニック (代表者：堀川 一晃) (住所：〒318-0001 茨城県高萩市大字赤浜字苅又作 2086 番地 1)
意見を聴いた日	平成 18 年 5 月 18 日
意見を聴いた方法	高萩市役所において、高萩市教育特区の変更の認定申請内容につき、意見を聴取。
意見の概要	1. 普通科より総合学科への変更。 2. 別科として社会人を対象にした専攻科の設置。
提案に対する対応	市としてもボランティア活動・生涯学習の推進による早期効果を図るため、積極的に学科変更・専攻科設置を進める。

4.法第4条第3項の規定により聴いた意見の概要

提案者	株式会社 ウィザス (代表者：生駒 富男) (住所：〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目6番2号 KFセンタービル)
意見を聴いた日	平成23年4月27日
意見を聴いた方法	高萩市役所において、高萩市教育特区の変更の認定申請内容につき、意見を聴取。
意見の概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. 特定事業の主体【学校設置会社】の株式会社ハーモニックから株式会社ウィザスへの変更。 2. 学校名を「ウィザス高等学校」から「第一学院高等学校 高萩校」へ変更。 ※いずれも平成24年4月1日付より変更。
提案に対する対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 市としても経営体力の強化を図り、更なる顧客貢献・地域貢献・社会貢献に繋げる株式会社ウィザスの変更趣旨に理解・賛同し、早期に認定申請内容の準備を進める。 2. 学校名の変更に関しても、趣旨・目的を理解・賛同し、早期に認定申請内容の準備を進める。但し、学校名変更においては地域への一定の周知に関して配慮を求める。

5.法第4条第4項の規定により踏まえた提案の概要

提案者	株式会社 ハーモニック (代表者：堀川 一晃) (住所：〒104-0061 東京都中央区銀座 4-2-15 塚本素山ビル)
提案のあった日時	平成 16 年 1 月 16 日
提案の方法	「高萩市教育特区」提案書の提出
提案の内容	<ol style="list-style-type: none"> 1. 学校設置会社による学校設置事業（ウィザス高等学校）の実施において、株式会社立通信単位制高等学校（広域制）を設置する件。 2. 校地校舎の自己所有を有しない学校等の設置事業の実施において、高萩市内の土地（財団法人高萩市住宅公社の所有地）を貸与する件。 3. 高等学校等における学校外学修の認定可能単位数拡大事業の実施。
提案に対する対応	<ol style="list-style-type: none"> 1. 規制の特例措置を受ける主体については、本事業の実施計画に積極的、協力的である株式会社ウィザスが設立する株式会社ハーモニックとすることとして、計画に位置づけをした。 2. 提案を踏まえ、その内容を包括した計画を作成した。